

働き方改革と 守・破・離の精神②

守・破・離とは、もとは千利休の歌「規矩作法 守り尽くして破るとも離るとも本を忘るな」から来ているもので、修行の各行程における心構えや行動を説いた熟語。

守：師の教えを受けて修行を遂行し、一人前に成長すること。
破：修行や自分の成したことを分析し、より高い目標に改善すること。
離：師の元を離れても、自ら新たな技術や知識を開発できること。



株式会社 システム科学
代表取締役社長 石橋 博史
東京都生まれ。1962年から24年間、自動車機器メーカーに勤務。1986年、株式会社システム科学を設立、代表取締役に就任。業務革新の実践および支援ツール「HIT.s法」の開発・導入・コンサルティングを推進する。2010年2月に、P・F・ドロッカーに認められた「業務プロセス可視化法およびチャート作成システム」で特許を取得。2011年3月、一般社団法人可視経営協会を設立、代表理事を務める。主な著書に『最少人数で最強組織をつくる』（ダイヤモンド社刊）など多数。

第二回目の今回は守・破・離のうちの「破」を取り上げて、その精神が(株)システム科学が取り組む働き方改革にどのように生かされているのかをお話したいと思います。

「破」、それはHIT.sの データを分析し、改善・ 改良すること。

前回は、HIT.s法の習得と活動における「守・破・離」の「守」の考え方についてお話ししました。第二回目の今回は「破」の精神についてお話ししたいと思います。業務の可視化によって経営革新を実現する画期的なシステムHIT.s法を習得するには、いくつかのセミナーや研修の受講が必要となることは前回お話ししましたが、これは一人ひとりの業務をSチャートという定型のフォーマットに当てはめることで「見える化」(可視化)し、仕事のムダを排除することを目的としています。そして、ここで重要なのは、使用するSチャートが、従来の「人に仕事がついている」という概念を打ち破り、「仕事に人がつく」という全く新しい概念を取り入れた画期的なフォーマットだということなのです。これまで一般的だと思われてきた考え方を刷新した、まさに型破りの考え方と言えます。これは、仕事を機能で管理することによって、一人ひとりの業務の価値判断を明確にし、改善着眼を容易にするという重要な役割を担っています。このSチャートを使ったムダ取り作業を経る頃

には、HIT.s法の習得が進み、個人別・部署別の業務実態を把握することができるようになります。でも、これで業務プロセスの改善が終わったわけではありません。個人別・部署別の業務の改善ポイントを全社的に体系化して、トータルな効率化基盤を構築しなければなりません。

ここで、HIT.s法が定義する改善管理点について、少し触れたいと思います。モノづくりの管理点に関しては、企業の三要素を「人」、「モノ」、「金」とし、管理の三要素を「Q(品質)」、「C(原価)」、「D(納期)」と規定。一方、情報づくりの管理点は「人の質(スキルの多能化)」、「時間(タイムマネジメント)」、「タイミング(発生時点処理)」の三つと規定します。そして、この二つの管理点を現状と照らし合わせ、適切、且つ迅速に分析し、これに仕組みづくりの原点とされる「OJT(オン・ザ・ジョブ・トレーニング)」、「価値測定」、「リアル処理」の三要素を適応させていきます。この分析、改善、改良の作業こそ、まさに「破」の精神が生かされていると言えるのです。

破：修行や自分の成したこと(Sチャートにより個人別・部署別の業務

実態を把握)を分析し、より高い目標(全社的に体系化しトータルな効率化基盤を構築する)に改善すること。

HIT.s法のコンセプトを学び手法を習得するのが「守」ならば、それを生かして経営革

破

新の実現に向け創意工夫をするのが「破」だと言えます。「破」の段階をクリアする頃には、もう「カウンセラー」としての資格も十分に備わっています。そんな人は自らのキャリアアップのために「事務革新士」などの資格を取得するのもいいでしょう。

**「破」、それは生産性を
向上させるために、
現状を打破すること。**

さて、ここで働き方改革について、改めて考えてみたい

と思います。日本のGDP(国内総生産)は世界第三位ですが、国民一人当たりのGDPとなると何と2016年の時点で世界で22位、さらに2018年には26位と後退しています(国際通貨基金調べ)。これは、先進国の中では最低ラインと言える数字で、これが国民の生活実感と密接にリンクしているのです。驚異的な経済発展を遂げてきた日本が、なぜこのような状況に陥ってしまったのか、その答えが働き方改革の本質を示しているのではないのでしょうか。

先だって、今、テレビやラジオで大活躍しているある有名なジャーナリストと対談する機会がありました(「可視経営協会」HP参照)。舌鋒鋭く世相に切り込む、今や国民的ジャーナリストの一人と言われる彼が日本の経営革新は全然進んでいないと言っていました。それはなぜかという問題になり、私は日本の経営形態や経営者が古い体質のまま、そこからなかなか脱却できていないからだと答えました。では、旧態依然とした体質から脱却するためにはどうしたらいいか。私の考えでは、それにはいくつかの方法があるけれども、結局は経営者の意識の改革が一番の問題だと。ジャーナリスト氏は、今の多くの経営者は喧嘩しな

いで無事に努めることだけ考えている。これは「ことなかれ主義」だと憤っていました。まさしくそういう側面があることは否定できません。従来からの既得権益、古いしがらみやお付き合い、そういった因習が企業改革を阻止しているのです。しかしながら、政府主導による働き方改革法が施行された今、もうそんなことは言っていられません。来年から適用となる中小企業にとって、この問題は死活問題になりかねません。旧来の価値観を捨てて、新しい視点で経営を見直す。つまり、これまでの現状を打破する、これが私の考えるもう一つの「破」なのです。小回りの利く中小企業なら、まだ十分間に合います。その際、業務プロセスの改善にはHIT.sの導入を是非お考えいただきたいと思います。

今回は、守・破・離の「離」についてお話ししたいと思います。

※弊社イメージキャラクター、女性空手家・中村綾乃さんが、7月7日、第62回内閣総理大臣杯全国空手道選手権大会(一般女子「形」の部)で優勝。見事5連覇を達成しました。中村さんとの対談は9月に本紙にて掲載予定です。

働き方改革に

クリーンヒット!

HIT.s

< HIT.s相談会、随時開催中! >

働き方改革の主要課題、生産性向上を実現する業務プロセス改善プログラムHIT.s! システム科学では、HIT.sの導入(環境)、運用(活動)、費用、その他について、随時、無料相談会を実施しております。業務プロセス改善をお考えの現場管理者の方、経営革新を実現したい経営者の方、そして、HIT.s導入をお考えの方、お気軽にお申込みください! 専任の相談員がマン・ツー・マンであなたの疑問にお答えします。

?
ホームページの情報やパンフレットだけではよく分からない



?
コストはどのくらいかかるの?



?
うちは社員が10人しかいないんだけどHIT.sは使えるの?



お申し込みは下記QRコード、またはシステム科学のホームページから

経営革新と人材育成の HIT.s



株式会社 システム科学

東京都文京区小日向4-5-16 ツインヒルズ茗荷谷9階
TEL: 03-6632-7811

<https://www.ss-hit.co.jp/>

